

II. 尿道留置カテーテル関連尿路感染予防対策

1. 尿道留置カテーテル関連尿路感染

尿路感染の中で、尿道留置カテーテルに関連しておこる尿路感染を尿道留置カテーテル関連感染 (catheter associated urinary tract infection; CAUTI) という。

2. 尿道留置カテーテル関連尿路感染の感染経路と発生機序

尿道留置カテーテルにより微生物が膀胱内に侵入する経路は、カテーテルの外側を通るルート(図1)と内側を通るルート(図2)に大きく分けられる。

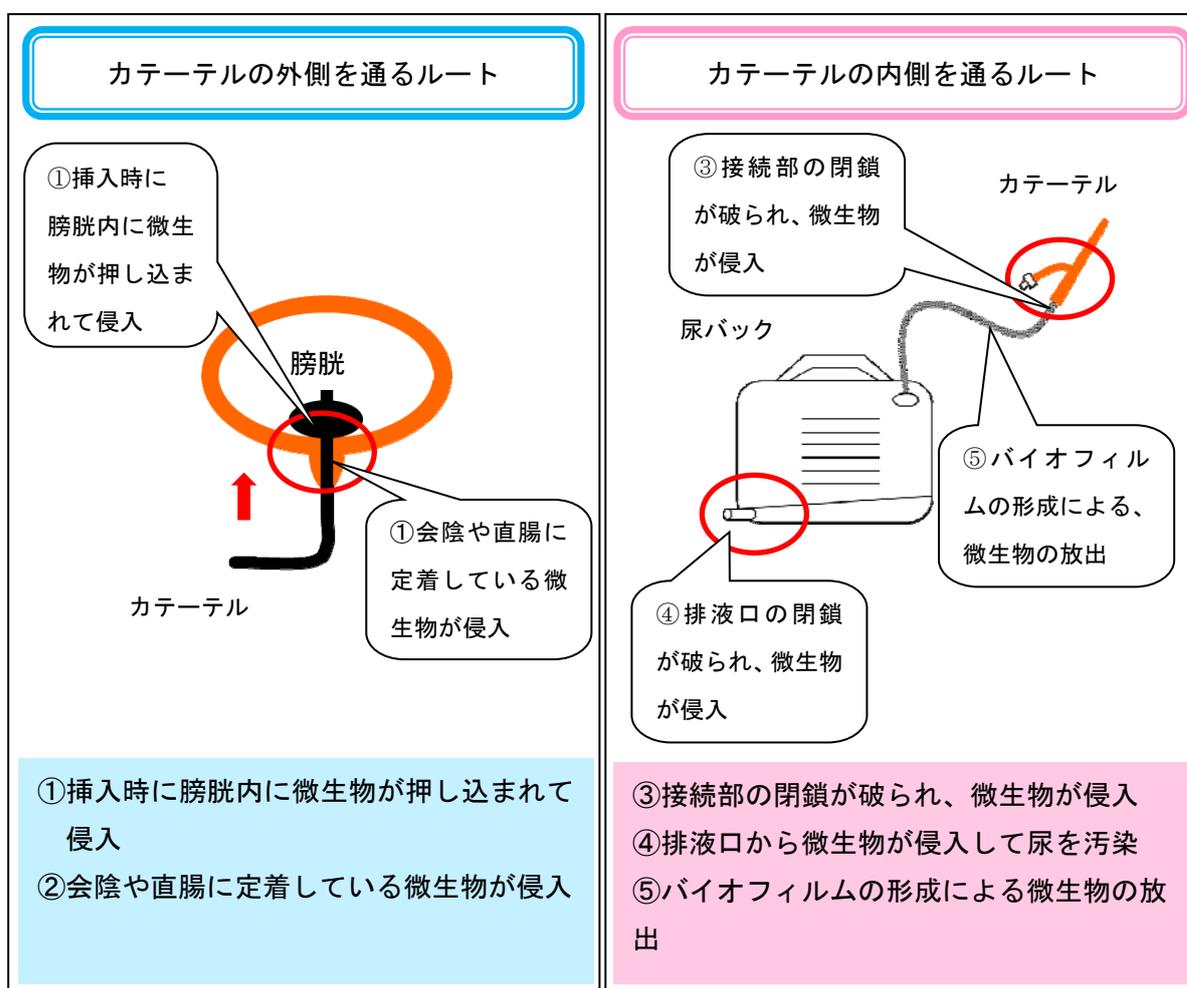


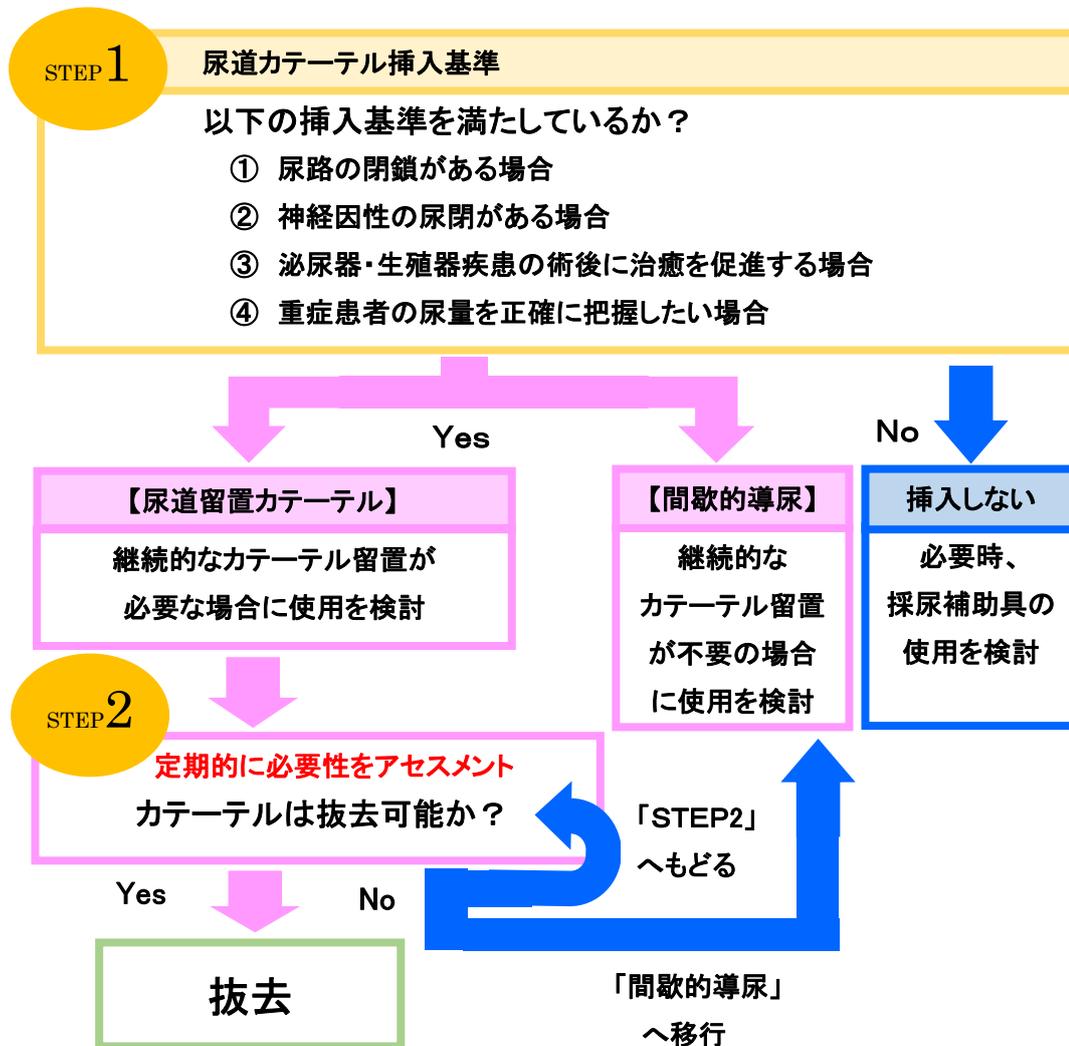
図 1. カテーテルの外側を通るルート

図 2. カテーテルの内側を通るルート

3. 感染予防対策

(1) カテーテルの適応を判断する

尿道留置カテーテルの留置期間が長いほど尿路感染のリスクは高くなる。下記のフローに基づいて適応を検討し、早期抜去に努める。



(2) 尿道留置カテーテル挿入時の管理

- 1) 尿道口の清浄
  - ・ 尿道口が分泌物で汚染している場合は、微温湯で洗浄する。
- 2) 手指衛生
  - ・ 挿入前後には必ず手指衛生を確実に行う。
- 3) 清潔操作
  - ・ 挿入中に清潔操作が確実に実施できるように患者の体位や照明を整え、手指衛生の後滅菌手袋を着用し、無菌操作にてカテーテルを挿入する。

(3) 尿道留置カテーテル留置中の管理

1) 閉鎖状態の保持

- ・ 採尿時はサンプルポートから行う(図 3)。
- ・ 膀胱洗浄が必要な場合は3ウェイの膀胱洗浄用カテーテルを使用し、開放式では行わない。



図 3. サンプルポートからの採尿

2) 逆流防止

- ・ 尿が停滞しないように尿バックとカテーテルは患者の膀胱より低い位置を保つ(図 4)。
- ・ 移動時に安易に尿バックをベッドに上げる等して、膀胱より高くしない。
- ・ 排尿チューブが体の下敷きになって、閉塞しないようにする(図 5)。



図 4. カテーテルと尿バックは患者の膀胱より低い位置を保つ

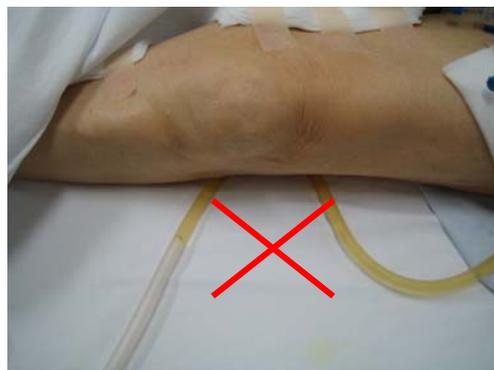


図 5. カテーテルが体の下敷きになっている

3) 交差感染の防止

- ・ カテーテル挿入部や尿に触れる可能性がある場合は、手袋などの防護用具を着用し(図 6)、処置前後の手指衛生を確実に行う。
- ・ 尿を回収する場合は、ベッドパンウォッシャー等で洗浄・消毒した清潔な容器を用い、排液口を床や回収容器に接触しないようにする(図 7)。

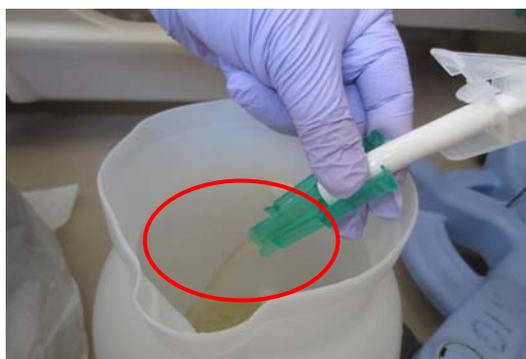


図 7. 排液口を回収容器に接触させない



図 6. 尿回収時の防護用具